

『CGL NEWS Ⅲ』は、第3期環境会議メンバーの方々を対象として、環境会議の活動状況と行政動向に関する情報提供を発信しております。

<目次>

1. 平成19年度オゾン層等の監視結果に関する年次報告書について  
(環境省)
2. 「食品ロスの削減に向けた検討会」について(農林水産省)
3. グリーンロジスティクスチェックリスト調査について
4. SCMフォーラム2008のご案内

★-----

平成19年度オゾン層等の監視結果に関する年次報告書について  
(環境省)

★-----

環境省は、「特定物質の規制等によるオゾン層の保護に関する法律(昭和63年法律第53号)」の規定に基づき、平成19年度における、1)オゾン層の状況、2)オゾン層破壊物質等の大気中濃度、3)太陽紫外線の状況の監視結果を取りまとめました。主な概要は下記のとおりです。

- ・地球全体のオゾン全量は、1980年代から1990年代前半にかけて全球的に大きく減少し、現在も減少した状態が続いている。
- ・南極オゾンホールは1980年代から1990年代にかけて急激に拡大し、その後もほぼ毎年大規模に形成されている。2007年に南極域上空で形成されたオゾンホールの面積は、過去10年間では3番目に小さな規模だったが、オゾンホールはほぼ毎年大規模に形成されており、年々変動が大きいために現時点でオゾンホールに縮小の兆しがあるとは判断できず、南極域のオゾン層は依然として深刻な状況にある。

詳細は下記環境省ホームページをご参照ください。

<http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=10105>

また、環境省では、9月をオゾン層保護対策推進月間(9月1日～30日)として、様々な取組を行います。

推進月間の詳細は下記をご参照下さい。

<http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=10103>

★-----

「食品ロスの削減に向けた検討会」について(農林水産省)

★-----

農林水産省では、年間1,900万トンとも推計されている食品廃棄物の中で本来食べられるにもかかわらず廃棄されている「食品」が相当程度含まれていると考え、食品ロスの実態を把握し、食品関連事業者(製造、流通、外食・中食)及び消費者のそれぞれの段階で食品ロスの削減に向けた課題を検討し、取りまとめることを目的とした「食品ロスの削減に向けた検討会」を設置するとともに、第1回会合を先月開催いたしました。

当該会合で配布された資料の中で、特に

- ・食品ロスにかかわる現状(資料2)、
- ・菓子業界における賞味期限設定、納入・販売期限、返品に関するアンケート結果(資料3)

はたいへん興味深い内容となっておりますので、ご関心のある方は下記ホームページをご参照いただければ幸いです。

[http://www.maff.go.jp/j/study/syoku\\_loss/01/index.html](http://www.maff.go.jp/j/study/syoku_loss/01/index.html)

★

グリーンロジスティクスチェックリスト調査 回答受付中

★

CGLⅢニュースvol8(2008年8月15日発行)でご案内しましたとおり、現在、「グリーンロジスティクスチェックリスト調査」を実施しております。

本調査は、物流・ロジスティクスにおける環境負荷低減活動の取組状況を集計・分析するとともに、回答企業に対して、集計結果(全体平均、業種平均と貴社回答)等を整理した簡易診断結果をお返しすることにより、自社の現状の取組度合いをご確認いただき、今後の取組を進める際の参考資料としていただくことを目的としております。

なお、環境会議メンバー企業の方につきましては、8月12日に担当者様宛にメールにて調査票等をお送りしておりますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

また、本調査は、第3期環境会議メンバー企業に限定しておりませんので、皆様のグループ会社、関係会社、取引先の方等にもご案内いただければ幸いです。(例えば、あるメンバー企業では、関係会社5社による環境に関する勉強会の中で本チェックリストを活用されているそうです。)

その際、下記URLで、グリーンロジスティクスチェックリストの概要、回答企業にお戻りする簡易診断結果のイメージ案、調査票等を掲載しておりますので、あわせてご案内いただければ幸いです。

<グリーンロジスティクスチェックリスト調査 ご協力のお願い>

<http://www.logistics.or.jp/green/report/08checklist.html>

<問い合わせ先>

社団法人日本ロジスティクスシステム協会  
事務局 栗原、武藤、北條  
03-5484-4021

★

■ SCMフォーラム2008 のご案内 ■  
2008年9月9日(火)～9月10日(水) ビッグサイトで開催

★

JILSでは、2008年9月9日(火)～9月10日(水)に東京ビックサイトでSCMフォーラム2008を開催いたします。

その中で、9月9日(火)開催のセッションA(14:00～17:20)では「進化する環境SCMと経営貢献」と題して、下記講演とモデレータのナビゲートによる聴講者参加型のディスカッションが行われます。

事例発表1「環境負荷ミニマムへの取り組み」  
太田 年和 氏 イオングローバルSCM(株) 取締役企画部 部長

事例発表2「グリーンSCM活動の取り組み」  
内海 実 氏 花王(株) ロジスティクス部門 統括

ディスカッション  
<モデレータ>  
折田 房治 氏 アサヒビール(株) 理事 物流システム部長  
(SCMフォーラム2008 企画委員)

その他、9月9日(火)午前中のオープニングセッションでは、  
トップのリーダーシップで挫折からV字回復を遂げた良品計画の松井忠三会長による  
特別講演や松下グループのSCM・ロジスティクス改革について同社のグローバル調  
達・グローバル物流を担当されている林義孝常務役員からの基調講演が行われます。

また、9月10日(水)のセッションは、グローバルSCM、  
SCMとリスクマネジメントのテーマで構成されております。

本フォーラムへのお申込を現在受け付けておりますので、この機会にご参加の  
ご検討のほどよろしくお願いいたします。

【会 期】 2008年9月9日(火)～10日(水)の2日間  
【会 場】 東京ビッグサイト 会議棟  
【参加料】 JILS会 員 : 47,250円(2日間/税込/1名)  
          JILS会員外 : 55,650円(2日間/税込/1名)  
          ※優待制度有り、詳細は下記URLをご参照ください。  
【参加定員】両日とも150名(定員になり次第、締め切りとなります)  
【問合せ先】普及開発部 橋爪 e-mail:hasizume@logistics.or.jp  
                  Tel: 03-5484-4021

詳細は下記URLをご参照ください  
[www.logistics.or.jp/fukyu/experience/convention/scmforum/scmforum2008.html](http://www.logistics.or.jp/fukyu/experience/convention/scmforum/scmforum2008.html)

\*\*\*\*\*CGLNEWS Ⅲ 配信について\*\*\*\*\*

■本メールは第3期ロジスティクス環境会議  
代表登録者・連絡窓口・研究会・委員会にご登録いただ  
いている方に配信しております。(メールの登録のある方のみ)  
■発信元: 社団法人日本ロジスティクスシステム協会  
■お問い合わせ、配信停止・変更は: cgl@logistics.or.jp  
(C)CGL NEWS All Rights Reserved.

\*\*\*\*\*